

平成30年（2018年）5月10日

## 山形大学における基盤共通教育改革 ～大学生に必要な基本的学修スキルの向上に向けた取組～

### 【本件のポイント】

- 従来の授業方法等を見直し、共通の教材や課題による全学部混合型のクラス編成とグループ学習を基本とする導入科目として設計
- 同じ学習形態を2回繰り返すことにより、前半での学びの「型」を着実に身に付けさせる学生主体型授業として展開（詳細は図1参照）
- 平成30年度は、新たな試みとして平成29年度履修者（2年生）が「ピア・メンター<sup>※1</sup>」として新入生のグループ学習を支援

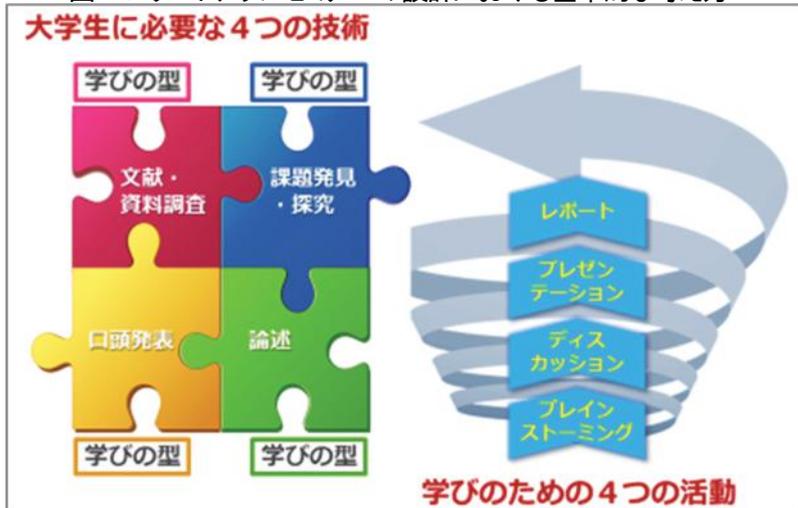


### 【概要】

山形大学における3年一貫の学士課程基盤教育改革<sup>※2</sup>の一環として、基盤共通教育の導入科目である「スタートアップセミナー」を平成29年度から見直しました。その際、図1の基本的な考え方に沿って、総合大学としての強みを活かし、全学部混合型のクラス編成とすること、共通の教材と課題を開発し授業の均質化を図るなどしています。本授業に対する平成29年度受講者の平均満足度は5点満点中4.15ポイント「大学で初めてレポートを書いたりプレゼンをしたりする機会なので大切にしたい」「6学部一緒に授業を受ける中で交流し合い色々な考えを聞ける貴重な機会だと思うので、そこを大事にしたい」といった声が寄せられました。

- ・4つの技術を身に付け、使いこなすために「学びの型」として「4つの活動」を提示する。
- ・「4つの活動」はグループワークを基礎とし、多様なメンバーとの協力の中で学びに取り組む。
- ・定められたテーマに対し「4つの活動」による学びを繰り返す（2サイクル）ことにより、学びの型を身につけていく。

図1 スタートアップセミナーの設計における基本的な考え方



### 【今年度の取組】

平成30年度は、スタートアップセミナーの一部の授業を担当教員による監修の下、平成29年度履修者（2年生）が「ピア・メンター」として新入生のグループ学習を支援します。教員ではなく、より身近な存在である先輩との協働による学生主体型授業としての完成度を高めていきます。

### ※用語解説

1. ピア・メンター： 「同じ道の少し先を行く人」として一年生の主体的な学びを支える学生のこと
2. 3年一貫の学士課程基盤教育改革：本学では従来の教養教育を改め、カリキュラムの構成要素ごとに、目的・目標に応じた科目群で区分する「基盤教育」を平成22年4月から展開しています。平成29年度からは、「学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」と「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」、「入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）」の3つのポリシーに基づいた全学横断の3年一貫学士課程基盤教育として体系化した学士課程教育を再構築する改革を進めています。

お問い合わせ （メールアドレスの★は@に置き換えてください）  
学術研究院准教授（基盤教育担当）橋爪孝夫  
TEL 023-628-4487 メール hasidume★kdw.kj.yamagata-u.ac.jp